

2014年10月

第49号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
TEL 018-883-1888

学力テストと秋田県児童の課題

文部科学省は8月25日、4月に実施された2014年度全国学力・学習状況調査の結果を公表した。

本県は小学校6年の全4科目で正答率が47都道府県で第1位となり、中学3年でも国語Aが全国第1位、その他3科目も全国2位と7回連続全国トップ級の誇るべき成績を収めた。

正答率をみると、多くの科目で基礎知識を問う問題よりも、知識の活用力を試す問題の方が全国平均に大きな差をつけている。

これは教員が毎年の好成績を励みに授業内容を工夫し、児童生徒も学習に意欲的に取り組む好循環が続いていることが挙げられる。

また、本県では自らの意見を述べ合いお互いの意見交換を通して答えを導き出す「考える授業」が定着しておりこれが大きな成果に結びついているとみられている。

さらに、学力テストと同時に行われたアンケート調査によると、家庭学習で「授業の復習をしている」と答えた割合は小中ともに本県がトップで、「予習をしているか」の問いに対しては小学校では本県がトップ、中学校では3位だった。予習復習の高い定着率は児童が自学自習したノートを毎日教師に提出、教師がコメントをつけて返却する「家庭学習ノート」で効果を上げているようだ。

その他、「早寝・早起き」・「毎日朝食をとる」などの生活習慣が身に付いており、新聞の購読頻度などによって成績が左右されている傾向も見られる。

こうした小中学校の教師・児童生徒の「頑張り」は大きく評価できるものがあるが、一方で高学歴になるに従い課題も抱えている。

秋田県の平成24年度の高校進学率は98.6%で全国17位となっているが、同大学進学率は45%で全国33位と大きく後退している。これを男女別で見ると女子は49.1%と東北でNo.1となっているが男子は41.1%東北4位、全国34位となっている。

大学進学率は大学設置場所から遠い地方あるいは県民所得の低位にある県での低迷が目立っている。本県の場合は男子学生の進学率が極端に低位となっているが、その原因を究明すると同時にせつかく義務教育段階で健闘している学力を高校、大学進学へ結びつける一貫した教育を目指して欲しい。

秋田県には全国から小中学校の教員が視察に訪れ「課題追求型・探求型授業」の「秋田方式」を導入している県も増加してきている。高齢化が進み産業の競争力で立ち遅れている秋田県にとって相対的に優位にある「学力」を大切にしたい県づくりをして頂きたいものである。



は希望

明日は現実



慶應義塾大学名誉教授 村田 昭治

「どんなに荒れた社会、優しさを失った社会でも「希望」も「幸せ」も「ゆたかさ」も、すべてはいつも自分の前向きな心が決めるのだね」とは、相田みつをさんのことばである。

企業がフィロソフィー、ポリシー、ピープルの視点に立ち、最も賞賛される組織体となるように、全企業人がマーケット（顧客）との間に心の響き（ふれあい）を感じるとき、夢への挑戦が熱発する。

夢は希望であり、明日の現実にするものだ。だから夢は大きく「人間らしさ」あふれる企業づくりをめざすべきだ。未来は予測するものではなく、創造するものだ。夢を持たなければ、創造の力は湧いてこない。

どんなにきびしい企業環境のなかにあっても、志を高くもって強く、広い視野と深い慈愛と思索、濃密な人間関係を経営のまんなかにおいている企業には、生命力を感じる。

経営の中心に、人間の生き方を据えて、マーケット、顧客の声をしっかり聴いて、うそのない経営を実践し、自らが創造と開発を怠らないコア ノウハウと真剣にとりくむ企業には、信頼を絆として、顧客が必ずついてきている。

経営は「いま」が大切だ。いま取り組むべき企業課題を整理すると、つぎのようになるだろう。全社員の心一致のもとに政策を共有し、考えぬきながら行動していくことが求められていると思う。

一つは、会社のもっているコア技術を研磨して、自社が断然優位に立つ差別的価値を創ること。

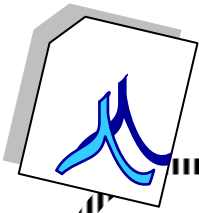
二つめは、高度の専門ノウハウをベースにして、的確な提案を絶やさないこと。

三つめは、顧客の欲するものをさぐりあてるため、対話力をつけ、深い調査を継続的に行う。

四つめは、社内外の知恵と活力を結集するため、プロジェクト スピリットを高め、ワークショップづくりを活発に進めて、パワーアップを図る。

五つめは、トップ自身が会社の課題発見、研究開発、営業の関係づくりに捨て身であたる。

ポジティブな経営へ今日から踏み出してほしいと思う。



嘉納 治五郎 (日本の柔道家・教育者)

- 1860年12月9日 摂津国御影村(現兵庫県神戸市)で、父治朗作・母定子の三男として生まれた。嘉納家は御影で屈指の名家、酒造・廻船を営み勝海舟のパトロン的存在だった。
- 1873年(明治6年) 明治政府に招聘された父に同行し上京。書道・英語などを学んだ。
- 1877年(明治10年) 東京大学に入学。虚弱な体質を克服するため柔術の学びに入る。
- 1881年(明治14年) 東京大学文学部政治学理財学科卒業。柔術二流派の技術を取捨選択、独自の「柔道」を作る。
- 1882年(明治15年) 下谷北稲荷町(現上野)永昌寺に講道館道場を設立。
- 1883年(明治16年) 東京高等師範学校(現筑波大学)校長就任。通算25年。起倒流皆伝。柔術・剣術・棒術・薙刀術などの他武道でも柔道と同じように理論化することを企画する。さらに、教育の面では柔道の精神として唱えた「精力善用」「自他共栄」を校是とする旧制灘中学校設立に関わり、文部省参事官、普通学務局長、宮内省御用掛などを兼務した。
- 1905年(明治38年) 大日本武徳会から柔道藩士号を授与される。
- 1909年(明治42年) 日本人初のIOC委員となる。
- 1938年(昭和13年) 5月4日 IOC総会からの帰国途上肺炎のため死去。

おすすめの BOOK



『官房長官 側近の政治学』

作者 星 浩 朝日新聞出版

官房長官の役職は極めて大きい権限を持ち、たえず調整者としての力量が問われる位置にある。あえて極端な表現を使わせていただくならば、総理大臣を「活かすも殺すも官房長官の腕にかかっている」と言っても過言ではないくらいだ。現在は秋田県出身の菅義偉氏が就任しているが、安倍政権が比較的安定感が高く評価されているのは、官房長官の記者会見での「誠実さ」などが好印象を得ているのも一つの要因だろう。

本書は戦後の官房長官に的を絞り様々なタイプの官房長官がときの総理と織り成す政治ドラマを描き出していて面白い。



<給与明細の見方>

毎月の給与明細、きちんとチェックしていますか？手取り額を確認し、いつもと同じかわあ…で終わっていませんか？

確かに給与計算は殆ど電算化で人事マスター入力間違いなければ心配はいらないのですが、正しい見方を身に付ければ、お金や税金、働くことに対する意識が変わると思います。

給与明細は大きく分けて3つの項目に分かれています。項目別に説明しましょう。

1、『勤怠』欄

出勤日数、欠勤日数、特別休暇日数、有給日数・残日数、残業時間などが記載されています。これを基本に給与が計算されることになるので、日数や時間が正しいか念のため確認しましょう。

2、『支給』欄

基本給のほか各種手当が分かります。会社から支払われるお金という意味で、この合計が“額面”と言われる金額です。基本給のほか、各種手当（役職手当、資格手当、残業手当、家族手当、通勤手当、住宅手当等）但し、手当は会社によって大きく異なります。

3、『控除』欄

税金や保険料など差し引かれた分が把握できます。

毎月の給与所得に基づき、一定の割合で課税

されるのが「所得税」です。12月の年末調整で過不足を調整し、1年間の所得税総額は源泉徴収表で確認できます。もう1つの税金項目が「住民税」。前年の所得に応じて、6月から翌年5月にかけて毎月支払う税金です。前年の所得がない新社会人は、1年目の住民税はゼロ。社会人2年目の手取額が、1年目よりも少なくなる…なんてこともよく耳にします。保険料の項目では、医療費を負担してくれる「健康保険料」。会社で定める健康保険組合に加入し、保険料は会社と従業員で半分ずつ負担することになっています。「厚生年金保険料」は、老後に給付される年金の掛け金で、こちらも保険料は会社との折半です。その他退職した時に失業手当をもらえる「雇用保険料」、40才以上の従業員が自動的に加入する「介護保険料」などもあります。また、給与天引きで「財形貯蓄」「個人生命・損害保険料」などを支払っている人はそれらの金額も記載されています。

最後に見終わった給与明細はどうされていますか？

以前、年金入力ミスが問題となった際、物的証拠として給与明細が活用された事例もありました。万が一の為、給与明細は捨てずに保管しておくことをお勧めします。



【編集後記】

10月は「味覚の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」でもある。現在、韓国仁川で「アジア大会」が開催され連日熱戦が繰り広げられている。日本は水泳・柔道・体操などでメダルラッシュだ。

9月初旬には男子テニスの錦織圭選手が全米オープンテニスで次々とランク上位の選手（ランクNo1選手含む）を打ち破り、日本人初の銀メダルを獲得した。

この偉業を讃え島根県松江市は「県民・市民栄誉賞」を授与することに決定したが、錦織選手は「今回はまだ自分にとって最終目標ではない。さらに上を目指し頑張ってゆきたい」として栄誉賞授賞を辞退した。

かっこいいね！！頑張れ錦織選手。